



おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回作品づくりと一緒にDIYの基礎知識を紹介していきます。第11回の作品は、「飾り棚」です。棚の高さが違うので、上と下それぞれ高さの違う小物が飾れて便利。あまり大きくないので、ちょっとしたスペースに置けますよ。基礎知識は、下穴について詳しく教わります。

◇飾り棚◇

材 料

杉板【A側板】276×104×12×2 【B底板】276×104×12×1

【C棚板】276×104×12×1 【D栈木】276×24×12×3

スリムビス25ミリ28本、木工用ボント、紙やすり（180番）

※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm

※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。

お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。

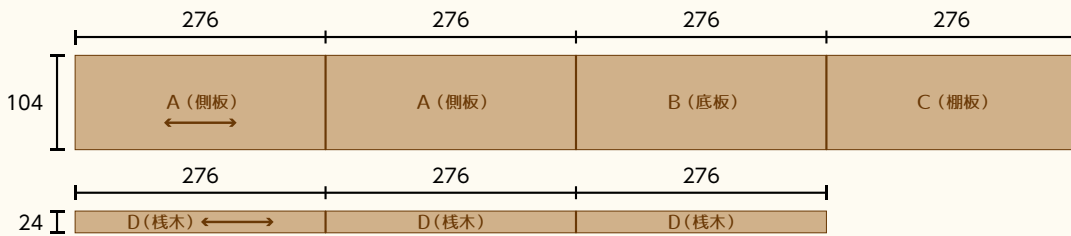
※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントを使用しています。

道 具

ドリルドライバー、ドリルビット（2ミリ）、ドライバービット（+1）、定規、スコヤ、キリ、ヘラ（ボンド用）、塗装用スポンジ、木杵や捨て板等



木取り図 単位：mm（ミリ）



完成図



【前から見た図】

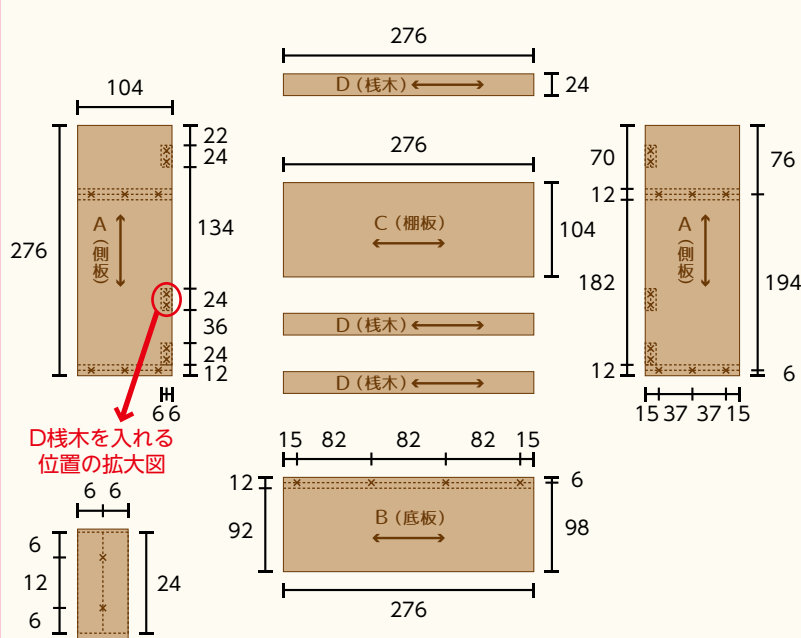


【上から見た図】



【横から見た図】

加工図 単位：mm（ミリ）



講師紹介

スマイルウッド代表
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド」おうち木工教室を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという思いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

- × スリムビス25mmのビス位置
- 下穴・ビス位置・合わせ位置をつけるためのえんぴつ線
- 木目の方向

スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりの木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のスツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーバリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住 所

伊賀市笠部 533

開講時間

火曜・土曜 13:30～17:00

※応相談。要電話予約

TEL

080-7041-6483

HP

<http://smile-wood.com/>



作り方

- ① ①印をつける
定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。
- ② ②下穴をあける
ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。
- ③ ③組み立て
接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーでビスどめします。組み立ての順番は次のとおりです。
- ③(1) B底板とD 横木をつけます。別の横木を支えに使うと安定します。
- ③(2) A側板の一枚に(1)をつけます。C 棚板を垂直に置くと安定します。
- ③(3) (2)とC 棚板をつけます。
- ③(4) (3)ともう一枚のA側板をつけます。
- ③(5) (4)とD 横木をつけます。
- ④ やすりかけ
紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。
- ⑤ 塗装
スポンジを使って塗料を塗ります。少量ずつ塗り重ねるとよいでしょう。

横木が付いているので、後ろに小物が落ちにくく、使いやすい棚ですよ

そうですね。横木がある方が、デザインもかわいいと思います!



講師 岡田しずかさん

編集者 S 子

今回の基礎知識! 【下穴をあける】

下穴とは、ビスを打つ位置に先にあけておく穴のことです。ビス組をする時には、下穴をあけておくことでビスを打った時に木が割れにくくなります。また、ビスは穴のあいている方へ誘導されるので、正しい位置に打てるようになり作業がスムーズに進みます。基本的には手前の部材だけに貫通した下穴をあけ、相手(向こう側)の部材には穴をあけません。このコーナーで使っているスリムビスのように、軸の上部にネジ山(らせん状のぎざぎざ)がないビスを半ネジといい、この場合、ネジ山のない部分より少し太いドリルビットで、下穴をあけます。このコーナーでは、2ミリのドリルビットを使っています。

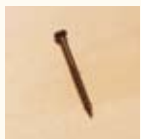


下穴をあける時にはトルクをドリルモードに合わせます。

下穴をあける前に、キリで穴をあけた場所を突いておくと、ドリルビットがずれにくくなります。



下穴をあける時には、木枠に乗せた捨て板の上であけるとよいでしょう。下に板があると、穴をあけた板の裏側にささくれ(「バリ」ともいう)ができにくくなります。ドリルビットは、メーカーや直径の太さによって長さが違います。用意した木枠と部材の厚み、ドリルの長さをチェックして、作業台に穴をあけてしまわないように確認しましょう。貫通穴をあけたら、板の表裏で同じ位置に穴があいているか確認してみましょう。穴がずれている時は、ドリルをどちらかに傾けて持つ癖があるかもしれません。垂直な下穴をあけましょう。



半ネジタイプのスリムビス



おすすめディスプレイ

5月号で作った「箱飾り棚」と幅幅や奥行きをそろえてありますので、並べて飾ってみました。小さな箱飾り棚を作って、中に置いても変化がでます。雑草や植物だけではなく、キッチンで調味料を置いて使うのもよいですね。※今回の作品は、スマイルウッドでも体験できます